

4つのグループから こんな質問がありました

若者が集まる町にするため スケートボードパークの設置を

問 清水高校の生徒へ行ったアンケートの回答者90名のうち、8割以上が「清水町は活性化していない」との回答であった。町の活性化には、若者の力が必要である。スケートボードは東京オリンピックで日本人メダリストを多く生み出し、一大ブームが起きている。昨年の模擬議会でも提案していたが、若者が集まる町にするため、改めてスケートボードパークの設置を提案する。

答 これまでの取り組みの継続と時代に合った施策を考えたい。スケートボードパークの検討は、国内競技人口や施設整備に係る事業費の調査を進めているところである。

アイスホッケーで さらに町の活性化を

問 「アイスホッケーの町」である清水町を、さらに活性化させるためには、競技人口の増加、知名度の向上が必要である。現在、清水高校、全十勝A、御影グレッズは全国的にも有名で毎年全国から7～8名の選手が清水町に集まっている。アイスアリーナもあり、最適な環境だが、これまで実施してきたアイスホッケーの普及、活動の支援等の取り組みについて伺う。また、女子専用の下宿の設置を検討してはどうか。

答 現在、町アイスホッケー協会にアイスアリーナの管理とともに、普及・指導の核となっていていただいている。下宿については民間事業者による設置の支援を検討したい。

若者をターゲットに 町特産品をPRしては

問 清水町の食品は生鮮食品から加工品まで数多くあり、どれもとても美味しい。ツイッターで調査したところ、清水町を知っていると答えた人は40～50代が多く、10～20代はほとんど知らないことが分かった。若者をターゲットにしたPR方法を模索すべきと考えるがいかがか。

答 本町では、イベントを通じた食のPRをはじめ、町観光協会と連携して、ホームページやSNSを活用した情報発信、物産展への出展を行ってきた。今後は情報発信力のある若者をターゲットとした特産品の開発支援とPR方法が必要と考えている。

魅力ある公園整備には 何が必要か

問 清水小学校の令和2年度新体力テストの集計結果では全体的に全国平均を下回っており、保護者や児童に行ったアンケート結果からはスリルのある遊具を望んでいることが分かった。本町には21か所の公園があるが、遊具が古びてきている。魅力的な公園を整備すべきであり、体力向上や子どもや保護者の方たちが楽しく集えるような遊具を設置してはどうか。

答 今後、遊具を更新していく際には、利用対象者の年齢の考慮、安心・安全な利用、憩いの場として楽しんでいただけるよう考慮したい。

模擬議会に出席した 高校生議員

木下	大	地	さん
岸上	光	楽	さん
伊達	紗	葵	さん
中林	寿	奈	さん
真野	寛	也	さん
水口	晴	斗	さん
白鳥	太	陽	さん
西垣	波	音	さん
片岡	剛	琉	さん

(小野田 蓮さんは当日欠席)

模擬議会終了後、ほっとしたところで記念撮影

清水高校生 模擬議会

高校生議員が 一般質問

大学進学や公務員を志望する清水高校の3年生10名が総合的な探求の時間で地域の課題を研究しており、その活動の一環で、10月5日、本会議場で模擬議会に臨みました。

清水高校生との模擬議会は、町政や議会活動への関心や理解を深める目的で開催したもので、今回で2回目の取り組みとなります。

高校側としては、生徒が地域の未来に向けて課題を具体的に考察し、議員としてまちづくりに関する質問や意見を行うことで、将来、地域を担う人材として働く意欲を育むことを目的としています。高校生は模擬議会開催までの間に、授業の中で、



リハーサルで最終調整

地域の実態を知るヒアリングを2回行い、まちづくり案及び質問の作成、議会傍聴の活動に取り組みできました。議会議員との関わりについては、6月29日には議会運営委員会から一般質問へ向けた情報収集や質問の組み立て方、9月28日にはリハーサルとして全議員から再質問のポイント等についてアドバイスを受けてきました。

模擬議会当日は議場を会場に、阿部町長をはじめ副町長、課長職全員の出席をいただき、桜井議長による進行のもと、本会議と同様に議事が進められ、この模様は9月定例会より運用開始のYouTubeで生配信も行いました。一般質問は4グループに分かれて行われ、「若者が集まる町にするために必要な施策」、「清水町の特産品のPR」、「アイスホッケーを通して町おこし」、「清水町の公園の在り方」の4項目について質問がありました。

各グループは、20分の持ち時間をいっぱいに使い、するどい質問や提案を投げかけ、理事者側からの答弁を引き出していました。

清水高校3年生が 町の課題を考察し政策を提言